

## 1 文の種類・組み立て (参 pp. 24~63)

### 基本問題

1

- (1) doesn't have[eat]    (2) didn't they    (3) Let's, shall we    (4) How fluently

### 解説

- (1) 一般動詞を含む文の否定文は、〈do[does / did] not+動詞の原形〉の形。  
(2) 肯定文の後に続く付加疑問は否定の疑問形になる。付加疑問の主語には代名詞を使うことに注意。  
(3) 〈Let's+動詞の原形〉で「(自分も含めて)~しよう」という提案を表す。また、付加疑問shall we?をつけることもある。  
(4) 「なんてすらすらと話すのだろう」と副詞を強調しているので、〈How+副詞+主語+動詞!〉の感嘆文で表す。

2

- (1) Where did he get a ticket for the concert?  
(2) Don't watch TV in a dark room.  
(3) What an interesting story he told to us!  
(4) Kate won't stay home this evening, will she?

### 解説

- (1) 「彼はどこでそのコンサートのチケットを手に入れたのですか」 at a convenience storeは場所を表しているので、whereを用いる。  
(2) 「暗い部屋でテレビを見てはいけないよ」  
否定の命令文は〈Don't+動詞の原形〉を使う。  
(3) 「彼は私たちになんとおもしろい話をしてくれたのでしょうか」  
〈形容詞+名詞〉を強調する感嘆文は〈What(+a[an])+形容詞+名詞(+S+V)!〉の形。  
(4) 「ケイトは今晚家にいないんだね」  
否定文の後に続く付加疑問は肯定の疑問形になる。

3

- (1) イ, c    (2) エ, d    (3) ア, e    (4) ウ, d    (5) オ, c

### 解説

- (1) 「日没時に空が赤くなった」  
The sky=redの関係が成り立つので、下線部redは補語。turnは「~になる」という意味。  
(2) 「ノートを見せてくれませんか」  
下線部は〈S+V+O(人)+O(物)〉のO(物)になる。

(3) 「月が明るく輝いている」

主語(The moon)と動詞(is shining)だけでも意味が成り立つ。brightlyは修飾語である。

(4) 「私たちはこの前の夏に富士山に登った」

下線部は動詞climbed(～に登った)の目的語。

(5) 「私たちは彼を学級委員長に選んだ」

〈elect+O+C〉で「OをCに選ぶ」という意味。

#### 4

(1) The girl bought red carnations for her mother.

(2) Shall we send a birthday card to him?

(3) She asked a favor of her mother.

#### 解説

(1) 「その少女は母親に赤いカーネーションを買った」

〈buy+O(人)+O(物)〉で「O(人)にO(物)を買う」という意味の第4文型。利益を表すため、第3文型の文では前置詞forを用いる。

(2) 「彼に誕生日祝いのカードを送りましょうか」

〈send+O(人)+O(物)〉で「O(人)にO(物)を送る」という意味の第4文型。sendはgive型の動詞で、第3文型の文では前置詞はtoを使う。

(3) 「彼女は母親に頼みごとをした」

〈ask+O(人)+a favor〉で「O(人)に頼みごとをする」という意味の第4文型の文。第3文型に言いかえるとき、askは前置詞にofを使う。

#### 5

(1) a. 私はたくさんの聴衆[観衆]の前で緊張した。

b. 私は昨日エミから誕生日プレゼントをもらった。

(2) a. 私をハリーと呼んでください。

b. 私にタクシーを呼んでください。

#### 解説

(1) aはI=nervousが成り立つ。よって、〈S+V+C〉で「SはCになる」という意味の第2文型。bはI=a birthday presentが成り立たない。よって、〈S+V+O〉で「SはOをもらう」という意味の第3文型。

(2) aはme=Harryの関係が成り立つ。よって、「SはOをCと呼ぶ」という意味の第5文型。bはme≠a taxiの関係が成り立つ。よって、「SはO(人)にO(物)を呼ぶ」という意味の4文型。

**6**

- (1) go there by bike or on  
 (2) is the capital of Australia  
 (3) police officer showed me the way to the station  
 (4) You will find my advice useful

**解説**

- (1) 2つ以上の中からどれかを尋ねる選択疑問文。〈A or B?〉や〈A, B or C?〉の形。  
 (2) 日本語では「どこ」だが実際には「首都は何か」という意味なので what を用いる。  
 (3) 「O(人)に O(物)を教える[示す]」は 〈show+O(人)+O(物)〉(第4文型)で表す。第3文型の文では前置詞に to を使う。  
 (4) 「OがCであるとわかる」は 〈find+O+C〉(第5文型)で表す。my advice=useful が成り立つ。

**FOR COMMUNICATION**

- (1) d    (2) c    (3) c

**解説**

- (1) A 「昨夜は宿題をしなかったの？」

B 「うん、しなかったんだ。とても疲れていたから早く床に就いたんだよ」

〈Didn't you~?〉は「~しなかったのですか」という否定疑問文。「とても疲れていたから早く床に就いた」という発言から、Bは「宿題をしなかった」という否定的な内容を答えているとわかる。よって、dを選ぶ。〔参〕 p.30 着眼点2)

- (2) A 「昼食にハンバーガー屋に行くんだけど。君に何か買ってこようか」

B 「ええ、ハンバーガーを2個買ってきてよ」

文脈より、「O(人)にO(物)を買ってやる」という意味のcを選ぶ。〔参〕 p.51)

- (3) A 「先週のスピーチコンテストでだれが一等賞を取ったのですか」 B 「キョウコだよ」

文の主語を尋ねる疑問文の場合、主語の疑問詞の後に動詞を続ければよい。一般動詞であっても do[does, did]は用いない。〔参〕 p.33 Typical Mistakes 1)

**発展問題****1**

- (1) b    (2) c    (3) d    (4) b    (5) d

**解説**

- (1) 「サムは自分の病気について私に何も言わなかった」

どの選択肢も「言う」の意味を表すが、〈tell+O(人)+O(物)〉「(人)に(物)を言う」の形で第4文型をつくるtellを選ぶ。

(2) 「このコンピュータには先月の私の給料がまるまるかかった」

〈cost+O(人)+O(費用・金額)〉で「O(人)にO(費用・金額)がかかる」という意味の第4文型。このcostは第3文型に言い換えることができないことにも注意。

(3) 「この家には大きな犬がいるのですね」

There is[are] ~ 「～がある」の付加疑問は、文末にisn't[aren't] there?をつけて表す。

(4) 「ロンドンの夏はどのようなのですか」

〈What is A like?〉で「Aはどのような様子か」という意味。(=How is A?)

(5) 「塩を取ってくれませんか」

命令文に付加疑問をつけて、口調を和らげることができる。

## 2

(1) left his three daughters a fortune

(2) did our town a lot of damage

(3) Who will tell the truth to

### 解説

(1) 〈leave O<sub>1</sub>+O<sub>2</sub>〉はここでは「O<sub>1</sub>(人・団体など)にO<sub>2</sub>(遺産など)を残す」という意味の第4文型。

(2) 〈do O<sub>1</sub>+O<sub>2</sub>〉は「O<sub>1</sub>(人など)にO<sub>2</sub>(益・害・名誉など)をもたらす」という意味の第4文型。

(3) 「～を言う人なんか(だれも)いない」から「だれが～を言うだろうか」という修辞疑問文を考える。

## 3

(1) b → to discuss      (2) d → healthy

### 解説

(1) 「今日は話し合うことが多くあります。それで、少なくとも会議には2時間を見ておくべきです。」  
discussは他動詞で前置詞aboutを必要としない。「～について話し合う」という日本語にまどわされないよう注意。

(2) 「1日に1個のリンゴはあなたを健康(な状態)にしておくのに役立つと言われている〔→1日にリンゴを1個食べれば健康を維持できるそうです〕」

〈keep+O+C〉の形の第5文型。O=Cの関係が成り立つので、下線部dを名詞のhealthではなく、形容詞のhealthyにしてyou=healthyとする。

## 4

(1) My father is eighty years old, but he looks young

(2) This novel looked[seemed] difficult, but I found it interesting.

### 解説

(1) 「Cに見える」は〈look+C〉で表す。

(2) 後半は「OがCであることを発見する」という意味のfindを用いた第5文型の文。